

令和元年度 第2回大阪市障がい者施策推進協議会障がい者計画策定・推進部会  
議事録

日 時 : 令和2年2月13日(木) 午前10時から正午まで  
会 場 : 大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室  
出席委員 : 三田(みた) 部会長、井上副部会長、芦田委員、亀甲委員、小泉委員  
酒井大介委員、三田(さんだ) 委員、福田委員、前野委員、松本委員  
溝上委員、山内委員、山梨委員、山西委員、

司会(障がい福祉課 各務) <開会>  
中嶋障がい者施策部長 <あいさつ>  
司会 <出席者紹介、資料確認等>

三田部会長

- ・ 皆さん、おはようございます。議題が三つありますので、少しずつ時間をかけて皆さんから意見を頂きたいと思います。12時までですので、どうぞよろしくをお願いします。
- ・ 議題1の基礎調査の状況について、ご説明をお願いします。

障がい福祉課 各務担当係長 <議題1 資料1の説明>

三田部会長

- ・ ごく一部だけの報告でしたが、色々見えてきたこともありました。
- ・ 説明を頂いたことに対する質問、ご意見、単純集計についても結構ですのでご意見、ご質問をお願い致します。

山西委員

- ・ 色々ありますが、身体障がい者の内訳をもう少し細かくして欲しいです。
- ・ 例えば、内部障がい、聴覚障がい者、視覚障がいなど内訳、また、聴覚障がい者の中でも年齢がいくつなのかなどの細かい内訳が知りたいです。
- ・ 資料では、身体障がい者と一括りにされているので、聴覚障がい者協会の立場としては意見しにくい部分があります。

内村障がい福祉課長

- ・ 最後に少し説明した資料1のA3判の資料をご覧ください。
- ・ 左側に調査内容が記載されており、その横に◎があるものは報告書冊子に掲載するものです。
- ・ 例えば、ご質問がありました「問5障がい者手帳の種類、等級」は「問3年齢」とクロスする所が◎になっており、報告書に掲載することになっています。
- ・ 今日は資料にはありませんが、報告書にはより細かい内訳を掲載いたします。

### 三田部会長

- ・ 本日配布されている、参考資料3にも聴覚障がいの18歳未満、18歳以上の人数の単純集計が記載されています。圧倒的に18歳以上が多い結果が出ております。
- ・ 他にいかがでしょうか。

### 三田委員

- ・ 今の内容と同じではありますが、実際には集計上、問いそのもので違っているのかなと思います。
- ・ 私たちは、重症心身障がいで、重度の知的障がいと重度の肢体不自由を合わせもつため、独特な暮らしにくさや困難さを抱えています。
- ・ その辺りが、クロス集計を行うことで、今回の調査で出るものなののでしょうか。
- ・ 結果が今後の対応や施策に関わるのであれば、調査をしていただきたいです。その辺はいかがでしょうか。

### 内村障がい福祉課長

- ・ 三田委員のご意見は、障がい種別で抜粋した上で、さらにもう一つクロス集計をすることが可能かということだと理解しています。
- ・ 可能な範囲で集計させていただいて、資料の提供をしていきたいと思います。

### 三田部会長

- ・ 間の何と間の何を掛け合やすかというクロス集計の案を、大変面倒ですが、来週の水曜日までに三田委員の方から出していただきますと、大変助かります。
- ・ 他いかがでしょうか。

### 山内委員

- ・ 資料1の90ページ間14、医療的ケア児の医療に関して困っていることで、断トツで「小児期から成人期へ移行するときの医療について心配」とあります。
- ・ 私も別の場所で申し上げたかもしれませんが、調査票の集計の中には入らないですが、医療的ケア児の検討会でもこのような結果を見えています。
- ・ 成人の方で、重症心身障がいの方がどういう状況なのか、三田委員も検討委員等でご存知かと思しますので、そういう視点も入れていただいて、急に子供から大人になる訳ではなく連続性がありますので、そういったことを見越して、検討していただければと思います。

### 三田部会長

- ・ ご要望という事で、よろしいでしょうか。
- ・ 他はいかがでしょうか。

### 井上副部会長

- ・ 先ほどのご質問にもあったように、身体障がい、知的障がい、発達障がいのクロス集計をしていただいているのですが、身体障がいの所は、視覚の人と聴覚の人、肢体の人は、集計に

工夫がないと、どんな施策が必要かが見えてこないというご意見だと思しますので、その点を工夫していただけたらと思います。

- ・ 特殊性がないものはしなくてもよいと思いますが、クロス集計はやってみてあまり差異がないものもあれば、違いが見えるものもあり、やってみないとわからない所があります。
- ・ あんまり細かくしすぎても大変ですが、大きく分けると視覚、聴覚、肢体ぐらいは最低限していただき、少し課題別にクロス集計をしていただきたいと思います。

#### 内村障がい福祉課長

- ・ 今、各委員の皆様からまた井上委員からも意見を頂きました。
- ・ 私どもも障がいの種別ごとのニーズは必要なデータとっておりますので、出来る範囲で我々もデータの把握に努めたいと思います。

#### 山梨委員

- ・ 肢体の障がいでも、上肢に障がいのある人、下肢に障がいのある人、体幹に障がいのある人様々ですし、上肢だけ、下肢だけでも色々と差があります。
- ・ そのあたりの部類の扱いは非常に難しいですが、考慮していただくことが大事かと思します。
- ・ 資料1の36ページの「問37 災害時に必要と思う事」で、「安全な場所（避難所など）への誘導や介助などの支援」が36.8%となっています。
- ・ 気象庁が発表した災害時の避難は、障がい者や高齢者は早く避難するとなっているが、障がい者の福祉避難所は作っていないのですよね。
- ・ 避難所へ行って、仕分けしてから、後から福祉避難所を作っており、順序がおかしいかと思します。
- ・ 障がいのある方が一般の避難所に避難して、それから仕分けして福祉避難所に送っていきなっていますが、人員の関係とかで難しいと思しますし、広域な災害になった時もおそらくできないと思します。
- ・ 結果的には、想定外という事にされてしまいますと思します。先に避難するよう指示するのであれば、先に安全な場所を作ってあげないといけません。この辺はどうでしょう。

#### 井上委員

- ・ それは、これから計画を作成する議論の中で提案することだと思します。

#### 三田部会長

- ・ 分析して出てきたデータは限りがあるので、考察の時に参考にさせて頂くかもしれませんが、今の段階ではこういった課題があるということによろしいでしょうか。
- ・ 貴重なご意見ありがとうございます。

#### 福田委員

- ・ 私も同じく、発達障がいでも知的障がいや精神障がいのある方がおり、考え方も全く違いますし、重度の方や強度重度行動障がいの方もいます。また、精神障がいも18歳以上で判明し

た方も多くいます。また、発達障がいのところでも親族の扶養で援助されている方も多いという結果が出ています。

- ・ どれだけの手帳を持っているのかが、発達障がいの調査票では数字として出ていますが、調査票Aの部分でも全体のどれぐらいの人が、このような結果が出ているのか知りたいです。
- ・ 私たちも、今後の参考にさせていただきますし、支援もさせていただけると思います。

### 三田部会長

- ・ それが今回の調査でどこまで把握できるのか、デザイン的に障がいの部位も、精神も、どんな病名なのかも、そこまでは出てこないですが、分析する時に、先ほどのデータでも家族が働いている場合は、兄弟が働いているのかもしれない、若年の障がい者なのかもしれないなど推察できるところは反映できていると思っています。
- ・ 色々な分野の方から、同じ身体でも同じ発達でも様々なという意見がありましたので、そのことを念頭に置いて全体的な考察ができればいいと思います。
- ・ ただ、すごく詳しくというのは、質問もしていないので、難しいと思います。
- ・ 例として、失礼を言って申し訳ないですが、「クロスって何？」と思われている方がいるかもしれません。
- ・ 例えば、調査票D1の「問19 地域移行したいと思うか」という質問に対して「ずっと施設にいたい」が断トツのトップで35.3%という結果です。
- ・ これだけを見ると施設が良いと見えてしまっていますが、資料1のA3資料の5枚目、クロス集計表D1で、横側の「問19 地域移行したいと思うか」を答えた人の入所前の居住区、性別、年齢、誰がこの調査票を書いたのか、入所は長いのか、入所を決めた人は誰なのかなど全部聞きたいです。
- ・ この問の回答者数は全員で369人分ですが、その実態がわかってくると、地域移行のためにしていることが「電車に乗ること」などよくわからない選択肢がありました。そんな状況の人がこの回答をせざるを得なかったというような考察していただきたいと思いました。
- ・ このような感じで、少し見づらいですがA3のクロス集計の横側の問何と、上側の問何を掛け合わせて詳細を知りたいといった場合は、来週の水曜日までに事務局までお願い致します。
- ・ 調べたものがすべて報告書に載せるどうかはわかりませんが、皆さんならではの視点で、これが大事なところじゃないかという所を教えてください。
- ・ 「今困っていることがない」という回答が、異常に多い場合もあって、本当にないのか、それすらもわからない状況があるのではないかともしました。
- ・ 全体的な回収率は、悪くはないと思います。
- ・ 特に施設の回収は頑張ってください、数字も伸びており、督促の意味がありました。
- ・ これだけ回収できているので、詳細をどう踏み込んで考察できるかだと思います。
- ・ 1番目の議題に時間を多く割いていますので、次に行かせていただきます。
- ・ 議題2の説明をお願いいたします。

内村障がい福祉課長 〈議題2 資料2の説明〉

三田部会長

- ・ ただ今のご説明に関してご意見、ご質問がありましたらお願い致します。

井上副部会長

- ・ 先程、内村課長が言われたように、3年間は有効だという事ですが、この先どうなるかは分からないため、市民の方は今回の提案で「福祉」はどうなるのか心配しています。
- ・ この間、計画全般で言うと、区ごとに状況がかなり違うという議論がありましたが、住民投票がされる状況の中で、市の全体的な方向は示していても、今回提起されている区の状況や課題についても示した上で住民投票がなされるべきで、丁寧な情報提供が必要だと思います。
- ・ この計画自体も市の全体計画ではありますが、今後、住民投票をすることが想定されるのであれば情報提供としての役割にもなります。
- ・ 大阪市という規模だから色々な制度が進んできたものもあると思いますが、もっと小さくなった時にこの計画の実効性がどのように担保されるのか心配です。
- ・ 自立支援協議会等でも、区によってバラつきがある中で、トータルとして出来ていた部分も分割されたらどういう課題が出てくるのかということも含めて、市民にわかりように提案していくのが障がい者計画を作るにあたっては、大切な視点ではないかと思います。
- ・ この調査も区ごとにデータを取ってクロス集計すれば簡単に課題も見えてくると思います。
- ・ とりあえずどうなるかわからないから、全体の分だけにするのか、万が一区割りになった時のことを想定して、影響、課題を含めて提案できるような計画にするのか。どのように考えていますか？

内村障がい福祉課長

- ・ 井上委員のご質問ですが、今回の支援計画の見直しについては、申し訳ないですが、変更のつもりはございません。
- ・ 次の計画の終期が2023年です。仮に市が変わる場合は2025年1月1日とされています。今回2019年に基礎調査を実施しているので、次回の基礎調査は2022年になりますので、移行期間にもう一度基礎調査ができることになります。
- ・ その際に、調査のあり方を皆さんのご意見を頂きながら考えて行くのも一つの手法かと思います。
- ・ この話は部内でもまだ審議していませんので、私の個人的な見解ということをご了承いただきながら、そういう手法もあり、そこで検討していかないといけないと思っています。

三田部会長

- ・ これ以上は、答えられないと思いますので、次をお願いします。

芦田委員

- ・ 現在、大阪市でも地域福祉計画を作られて、各区でもそれに基づいて計画が作られています。
- ・ 地域では包括的な視点で、障がいだけでなく、高齢の問題、子どもの問題、非行の問題ということで、横断的な取組を国も示していますし、各区でも検討が進んでいます。
- ・ この計画は、障がいということであるのですが、今取り組まれている包括的なところどう

連動していくのかが、今の時代必要だと思います。

- ・ あくまでも縦割りの部分で深くすることも重要ですが、今求められているのは、それと同時に、包括的に地域でどのように展開していくのかです。
- ・ そこが一文もないのが気になるところです。

#### 内村障がい福祉課長

- ・ 一文も無いこともないのですが、地域福祉計画をご覧になった方はお分かりと思いますが、障がい福祉計画があつて、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画があり、それを横串で指したのが地域福祉計画という表現になっております。
- ・ ただ、これからもっと、障がい福祉計画にこの文言を盛り込んでいくべきではないかというのは、おっしゃる通りかもしれません。
- ・ これからの議論の中で皆さんにご意見を頂きたいと思います。

#### 芦田委員

- ・ 地域はかなり包括的になって、各区で包括的な取組をしているところですので、よろしくお願ひいたします。

#### 三田部会長

- ・ 貴重なご意見ありがとうございました。さっきの調査結果も、区ごとに結果を見たいですね。
- ・ 他はいかがでしょうか。

#### 酒井委員

- ・ 障がい福祉計画の策定にあたっての意見です。
- ・ 就労系サービスについての話ですが、年末に、厚生労働省から就労継続支援A型の経営改善計画について全国的な集計が公表されています。
- ・ その中で、指定都市の中に大阪市が位置づけられ、実数も出ていました。細かい数字は忘れましたが、A型事業所のうち経営改善計画が必要な事業所が、前々からですが7、8割あつて、そのうち経営改善計画を提出しているのが、2割も満たない数字だったと記憶しています。
- ・ 指定都市の中でも、極めて低い数字です。横浜もありましたが、分母の数が少ないので比較しにくいのですが、どうして経営改善計画の提出が少ないのか、もし他に背景があるのならば教えて欲しいです。
- ・ そして私が申し上げたいのは、福祉計画の策定にあたっては、適正な数値目標と合わせて適切な事業所に対する指導とか支援がセットでなければいけないということです。
- ・ そういう事も鑑みて、例えば支援の質についても大阪市独自で障がい福祉計画の中に目標値を設けるのも大事だと思いますし、何かしらの施策を検討していただきたいと思います。

#### 岩田運営指導課長

- ・ 就労支援A型の経営改善計画の状況につきましては、昨年末から先月にかけて調査を行ったばかりで、ただ今集計中でございます。その為、申し訳ございませんが、数値の更新版はこ

の場所では、報告ができません。

- ・ これまでの実地指導の中でも、経営改善計画の提出を文書で求めるということを行っておりますので、数値の結果については、改めてご報告させていただきたいと思います。

酒井委員

- ・ 今回、全国の集計として記載されている大阪市の提出率が低いのは、事情があるのですか。
- ・ 時期の問題なのですか。

岩田運営指導課長

- ・ 今回公表されました数値というのは、3年ほど前に調査したもので、更新ができていなかったものになります。
- ・ その後、実地指導等を行いまして、今回改めて調査を行っているところですので、背景などの分析はまだできておりません。

酒井委員

- ・ 3年前の実績で、反対に言うと3年も期間があり、もっと提出率が上がってもよかったのに、提出率が上がっていないのは何が要因なのでしょう。
- ・ 提出率が低いことに対して、もう一度依頼をかけるとかはやっていなかったのでしょうか。

岩田運営指導課長

- ・ 今申しあげた全国版の数値が、3年前に初めて調査した時の数値になっておりまして、それ以降、未提出の所には督促をかけたり、実地指導で改善状況の確認をしたりという指導をくり返しておりました。
- ・ 今、行っている調査で結果が出れば指導の効果と言いますか、改善されている状況も判明するかと思います。
- ・ 指導した上で調査をした結果が、公表された2割程度しかなかったということではなく、調査の数値が3年前のままで、調査の期間が開いてしまっているの、3年前と同じ数値がそのまま出てしまったと考えております。
- ・ この間の指導の結果は、今行っている調査結果で分析をしたいと考えております。

酒井委員

- ・ 3年空いている理由が私には理解できないですが、今、どれくらい提出されているのですか。

岩田運営指導課長

- ・ 督促をかけていまして、先月の末が締め切りでしたので、今、作業をしているところです。

酒井委員

- ・ A型のこともですが、繰り返しになりますが、障がい福祉計画の数値目標については、適正な数値目標が必要ですし、ただ数だけ増やせばいいということではなくて、数と合わせて質も求める為にも、事業者に対する適切な指導及び支援が不可欠だと思いますので、よろしく

お願いいたします。

中島障がい者施策部長

- ・ 今、酒井委員がおっしゃったことは非常に大事なことです。
- ・ 厚労省の数値は私も見ておまして、全国の政令指定都市で大阪市が低い数字だというのは、調査時点の数字が前の数字というタイムラグの問題があって、今はもっと増えてきています。
- ・ サービスは非常に増えてきており、特に就労A型や放課後等デイは事業者が増え続けていています。
- ・ サービスの選択ができるという意味ではいいことだと思いますが、質の問題があります。
- ・ 市の監査も、数が多くなつていまして、追いつかないのが実情です。
- ・ サービスが増え続けることによる質の低下というのがあり、増えればいいのかという問題ではありませんので、次の数値目標をどう見ていくか、どう考えていくか、意見を頂きながら皆さんと考えていかなくてはならないと思います。
- ・ 非常に厳しい判断も必要かなと思います。そのあたりもご意見いただきながら進めたいと思います。
- ・ 昔のサービスのない時代から比べたら非常にいい時代だと思いますが、一方で質の問題も起こっております。
- ・ これからの計画を作るとき、大事な視点ですので、またご意見頂きたいと思います。

三田部会長

- ・ ありがとうございます。

井上委員

- ・ 前の計画を立てる時も、放課後デイの問題も、就労Aの問題も、ちゃんと見て数値をと言いつつながら、市は最初にA型は10人分しか計画を立てず、そんなに増えないだろうと思っていたが、なぜか増えてしまった。
- ・ 中身の検証をしっかりとしないという意見もあった。
- ・ ただ、A型の事業所の問題については、経営改善計画で辞めてしまいます。いきなり就労B型に切り替えたり、路頭に迷っている人たちがけっこういるという事を含めた内容点検をしないと、経営改善計画だけでやっていたら、彼らは辞めてしまいます。
- ・ 一番被害にあうのはそこで雇われた障がい者ということになります。
- ・ 検証の仕方も考えていただいて、質の問題も改善が必要です。
- ・ 聞けば、有名なコンサルタントがいて、色々作っているということもみんな知っています。
- ・ 経営状況だけではなくて、どういう支援をしているのか、A型事業所としてまともなのかという観点で監査もしていただく必要だと思います。
- ・ 単に経営問題だけではない事を、結果として起きていることも含めて検証していただきたいと思います。

三田部会長

- ・ ご意見ということでよろしいでしょうか。

- ・ 酒井委員から貴重な気付きをいただきました。
- ・ 時間が大幅に伸びておりまして、資料3に移らせていただきます。事務局から説明をお願いします。

山本障がい福祉課課長代理 <議題3 資料3の説明>

三田部会長

- ・ 何かご意見、ご質問ございますか。

小泉委員

- ・ 入所に関してなのですが、入所が本当に必要な方はいらっしゃるのですが、親の安心が重要視されて、ご本人の思いがあまり反映されていません。
- ・ また、入所を希望される方は、経済的な理由もあります。
- ・ 地域移行になると、年金だけでは生活できず、入所していれば年金の範囲だけで生活ができるということがあります。
- ・ たまたま育成会の会議で、兵庫県は地域移行には力を入れていて、その中でグループホームでは、国から1万円プラス、マックス1万5千円補助金が出るそうです。
- ・ すでに医療型グループホームまで考えているというお話もお聞きしました。
- ・ これだけ高齢化が進み、8050問題が起きていてこの人達を親亡き後、地域でと言っても経済力もなく、地域のニーズもないとなった時、今後大阪市としてどう考えているのかが不安で、入所のお母さんに一生懸命説得するのですが、説得できない自分がいるのが怖いと思います。経済的なことを言われるとトーンが下がってしまいます。
- ・ ぜひ、大阪市として地域移行イコール経済的に成り立つ補助をしていただきたいです。
- ・ 昔はとても力を入れていたのに、最近は地域移行に対する援助がなくなったように思います。
- ・ 今後どうされるか聞きたいと思います。

内村障がい福祉課長

- ・ 今回、基礎調査の中で収入状況の種類を聞いています。金額まではわかりませんが、何か見えてくるものがあるのかなと考えております。
- ・ 個人への大阪市としての経済的な補助はほとんどなくなってしまっています。
- ・ 兵庫県の地域移行の状況などを把握させていただいて、今後の大阪市の取り組みの中で取り組めるもの、いいものは取り組んでいく姿勢でやっていきたいと思います。

三田<sup>さん</sup>委員

- ・ 今のお話で、個人給付や家賃補助のような形での補助は大阪市ではしないという事だと思うのですが、それでも促進していくとしたら、受け皿としてグループホームの設置など、運営そのものに支援をしていく方向で促進していただいたら良いのではないかと思いますし、考えていただきたいと思います。

### 三田部会長

- ・ 他にも意見が出ているので、聞いていきましょうか。

### 井上委員

- ・ 入所施設かグループホームか居宅かという暮らしの場の問題は、極めて深刻です。
- ・ 三田先生は、入所施設の実態調査を取りまとめたりして頂いていますが、その中でもそれぞれの地域、例えば大阪市内で暮らし続けていくために、どんな場を設けたらいいのかが最大の課題であって、入所施設かどうかだけでなく、住み慣れた地域で暮らし続けていくにはどうしたらいいのかという視点で考えて行くべきだと思います。
- ・ 私共も、入所施設かどうかという相談も受けるのですが、市内の居宅で頑張っられていての方が、親御さんの介護が難しくなってきたり、入所施設を探したら削減計画を持っていない奈良県しかないということがありました。
- ・ 結局、府外に出て行っている実態があって、数値目標だけ言うのですが、中々計画通りに前に進まない実態があります。
- ・ また、国は6%と示して、その数字でやっていけるのかどうか、どこに問題があるのか。
- ・ このまま施設でいい方が約35%という数字がなぜなのかという事を分析していかないと、本当の意味での地域移行の実現はできないと思います。
- ・ 趣旨が何なのかということを議論の主にして、数値目標をどう達成するかという議論ではない議論をして行くべきだと思います。

### 芦田委員

- ・ 資料3の1ページの、施設入所者の地域生活への移行ですが、児の施設に入所している加齢児の方の問題は期限が迫る中で、目標値ではそこが明確になっていません。
- ・ キッチリと数字を入れていただいて、何人達成したかも明確にし、もちろん「0」になっていないといけないと思います。
- ・ そこは、二重に入れていただかないと、この問題ぼやけてしまっていて、大阪市ではかなり大きな問題だと思いますので、しっかり入れていただきたいです。

### 三田部会長

- ・ 意見という事で色々頂きました。
- ・ 要するに、この状況を見ていると親が倒れたら施設を考えずにいられないという方が、親自身も倒れそうな状況で、どれくらいいるのかということ。
- ・ 施設にいる人は、地域に出たら出たで精神障がいの方は、半数近くは生活保護がないと生きていけないし、外に出ないで家にじっといたら、入院を待つしかないような、すごく悲惨な結果だと思えば胸が痛いと思っていて、だけれども次の計画のことを考えなくてはいけないという虚しさを感じています。
- ・ 年度末なので、職員の移動があったり、委員も動いたりしますが、ずっとこの議論を続けていることを忘れないでいかないとと思います。
- ・ せっかくギリギリまで頑張っってきたと言いますが、頑張らないでいいので地域でもっと自由に暮らせるような仕組みが足りないと思います。

- ・ 大阪市に住みたいのに、なぜ奈良県や東北や九州に行かないといけないのかを、皆さんで理解していただきたいですし、そこから戻ってくるのは、すごく大変です。
- ・ 親が面会に行くのも、高齢になって行けなくなる状況とかもあります。
- ・ ボヤキのような意見になってしまいましたが、調査の進捗状況は数字だけではないということも意見を頂いたという事でよろしいですかね。
- ・ 何のために計画があるのか、計画に振り回されていきたくないのが率直なところですよ。
- ・ 計画にあるので、地域では大変だろうと、ヘルパーはいない、職員は定着しないでは、精神科の病院に理解を促すのは、やっているのか色々聞きたいと思うのですが、時間になってしまいましたので、調査の結果はまとめて頂いて、問題は整理し皆さんの気付きなども反映させながら、次に繋げ、住みやすい状況を作っていくといけない。

#### 福田委員

- ・ 皆さんにお配りした、世界啓発日のポスターとリーフレットです。
- ・ 中々難しい面もあるのですが、掲示できる場所があればよろしくお願いいたします。

#### 三田部会長

- ・ いつも色々資料ありがとうございます。

#### 松本委員

- ・ 資料2ですが、最後の方に難病の言葉が書かれているのですが、全体的に見ましても難病のことが出てこないのですが、この計画の中に難病患者が入れて頂けるのでしょうか。
- ・ 例えば、啓発とか就労とか、教育についても難病患者は入りますか。
- ・ 府の方でも難病患者を障がい者に一緒に入れるのは、難しいという考えもあるようで、私たちはあくまでも難病患者なのです。
- ・ 障がい者福祉の中に入るのは、賛成なのですが、ここに難病患者という言葉が入っていないのが、悲しい思いをしております。
- ・ 難病の言葉がなくなればいいのですが、なくならないと思います。
- ・ 若い方もどんどん難病になられている方もおられますので、次期計画においては難病患者も重点的に計画に入れて頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### 三田部会長

- ・ 調査においても、難病患者を忘れていたわけでもなくて、今日は報告がなかったも知れませんが、一緒に考えさせて頂きます。
- ・ 時間になりましたので、事務局にお返しいたします。

#### 内村障がい福祉課長

- ・ 長時間に渡りまして、熱心にご審議いただきましてありがとうございます。
- ・ 報告ですが、本日14時より市長が予算の会見を行います。ほぼ同時に大阪市のホームページでも来年度の予算の資料がアップされます。お時間が御座いましたら、ご参照いただきましたらと思います。

- ・ 本日頂きました委員の皆様のご意見を踏まえまして、これから次期計画の策定に向けて、取り組んで参りたいと思います。
- ・ 障がい福祉計画の指針の見直しを、はじめまして障がい者施策全般にかかりまして、国の動向も注視しながら状況の変化に対応して参りたいと考えますので、引き続きご協力を賜りますようによろしくお願いいたします。

司会 <閉会のあいさつ>